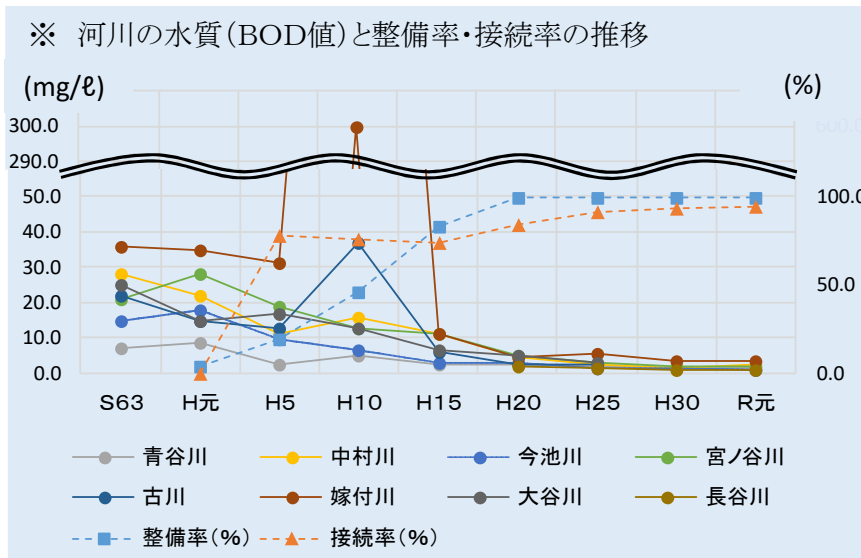


## 河川の水質改善について

※ 各河川の下流部における水質（BOD値）の変化は次のとおりとなっており、水質は改善されています。

年度	整備率 (%)	接続率 (%)	青谷川 (NO. 2)	中村川 (NO. 4)	今池川 (NO. 6)	宮ノ谷川 (NO. 8)	古川 (NO. 10)	嫁付川 (NO. 12)	大谷川 (NO. 14)	長谷川 (NO. 16)	摘要 (下図番号)
平成元年	3.9	0.0	8.9	22.0	18.0	28.0	15.0	35.0	15.0		平成2年4月供用開始
平成10年	45.8	75.2	5.0	16.0	6.7	13.0	37.0	300.0	13.0		
平成20年	98.8	84.3	2.7	4.6	3.0	4.9	2.6	4.8	5.0	2.2	整備がほぼ完成
令和元年	99.5	93.7	1.6	2.6	1.2	2.2		3.5		1.1	(平成31年)

(BOD値:単位mg/l ・ 空白はデータなし)



※ 河川水質測定箇所図



【 水質データ及び測定箇所図は「城陽市環境報告書」より抜粋 】

※ BOD値（生物化学的酸素要求量）

水中の有機物が微生物によって分解される時に消費される酸素の量で、河川等の有機汚濁を測る代表的な指標。この数値が大きいほど汚濁が大きいと言える。

※ 整備率 = 整備済区域人口 / 人口

※ 接続率 = 接続人口 / 整備済人口

《参考》

・水質汚濁防止法に基づく排水基準(京都府条例)

下水道終末処理施設  
し尿浄化槽 20mg/l  
30mg/l

・環境省基準（浄化槽対策室長通知・平成13年）

合併処理浄化槽 20mg/l

・洛南浄化センターから放流水の水質

事業計画水質 10mg/l

放流水質(令和元年度平均) 1.2mg/l